

なぜこの時期 ■ エネルギー政策の指針を

定点 菅測

菅直人首相が突然打ち出した浜岡原発の全炉停止。

法律上は権限のない要請だが、中部電力は9日、「首相の要請は重い」と受け入れを決めた。首相の決断による「政治主導」を評価するかどうか。識者の意見は分かれた。

（菅）内閣」と名付けている名古屋外国語大教授の高瀬淳一さんは、「しゃちほこ1個」と厳しい評価。「なぜこのタイミングなのかかわからない。『菅おろし』を封じようと急に政治主導を見せたのかと勘ぐら

れかねず、あまり上手じゃない」。今回も菅内閣のちぐはぐさが表れたとの見方だ。

逆に最高の「しゃちほこ3個」をつけたのは、評論家の呉智英さん。「政治決断」に対する評価だが、

「国民の不安を和らげるためにとりあえず思いついたというのでは困る」と、今後の経済対策に注目する。

南山大准教授の山岸敬和さんは、菅首相の政治決断を高く評価しつつ、しゃちほこ2個。「浜岡原発を3年間停止してやり過ぎたら、原発は要らないということにならないか。エネルギーという国策の根幹で、菅首相が何をしたいのかというロードマップが示されないのは残念だ」と話す。

■ 浜岡原発停止、しゃちほこ何個？

南山大准教授
（米国政治）
山岸敬和さん



政治家は決断とパフォーマンスの両方が必要で、「パフォーマンス」という批判はあたらなない。東海・中部地方で原発の必要性や代替エネルギーの国民的な議論を巻き起こし、政策革新をもたらす呼び水になる意味で大きな決断だ。

名古屋外国語大教授
（情報政治学）
高瀬淳一さん



浜岡原発に対する国民の不安を解消したことは悪くないが、急に降ってわいたような唐突感がぬぐえない。サプライズは政治手法としてはありだが、原発政策はオープンに議論すべきで、サプライズにはそぐわないのでは。

評論家
一愛知県在住
呉 智英さん



浜岡原発は東海地震の想定震源域にあり、非常に危険な状況にある。政治決断で止めたことは高く評価するが、中電や地元への補償、雇用確保、電力融通などの大きな経済政策をきちんとやってほしい。

※しゃちほこ3個が最高評価。最低は0個